

第15回 函館オープンカンファレンス アンケート結果

【参加者 114 件】
 【回答数 109 件】
 【回収率 96 %】

【所属】

	回答数	割合
院内	33	29%
院外	76	67%
無回答	5	4%
計	114	100%

【職種】（複数回答可）

	回答数	割合		回答数	割合
医師	3	3%	看護助手	0	0%
看護師	30	26%	ME	0	0%
保健師	6	5%	MSW	8	7%
薬剤師	8	7%	ケアマネ	35	31%
PT/OT/ST	4	4%	事務	1	1%
放射線技師	0	0%	その他	14	12%
栄養士	0	0%	無回答	5	4%

計 114 100%

【経験年数】

	回答数	割合
1～2年目	7	6%
3～5年目	12	11%
6～9年目	14	12%
10年目～	76	67%
無回答	5	4%
計	114	100%

質問1 本日のオープンカンファレンスについて、5段階評価をしてください。

1. 新たな知識・技術を学ぶことができた（できた：5～できなかった：1）

	回答数	割合
5	68	60%
4	34	30%
3	7	6%
2	0	0%
1	0	0%
無回答	5	4%
計	114	100%

2. 具体的でわかりやすい内容だった（わかりやすかった:5～わかりにくかった:1）

	回答数	割合
5	76	67%
4	27	24%
3	6	5%
2	0	0%
1	0	0%
無回答	5	4%
計	114	100%

3. 時間配分は適切だった（適切だった:5～適切ではなかった:1）

	回答数	割合
5	61	54%
4	29	25%
3	18	16%
2	1	1%
1	0	0%
無回答	5	4%
計	114	100%

4. 今後に活かせる内容だった（そう思った:5～そう思わなかった:1）

	回答数	割合
5	71	62%
4	27	24%
3	11	10%
2	0	0%
1	0	0%
無回答	5	4%
計	114	100%

質問2 良かった点を教えてください。

記載内容 ⇒ 別紙1(回答数72件)

質問3 改善点を教えてください。

記載内容 ⇒ 別紙2(回答数20件)

質問4 今後に期待すること, その他ご意見等。

記載内容 ⇒ 別紙3(回答数25件)

質問5 今後のオープンカンファレンスついて当てはまる項目に✓をつけてください。（複数選択可）

	回答数	割合
自分の病院でカンファレンスしてほしい	5	5%
機会があれば参加したい	103	94%
参加したくない	1	1%
無回答	5	4%
計	114	100%

質問2 良かった点を教えてください。

○医師
・とても整理されていてわかりやすかったです。
・あまり経験のない癌の終末期のリアルを勉強できました。
○看護師
・対象者との会話が病状や症状についてばかりではないこと、時には他愛のない会話のみで済ませること。それは対象を病人としてではなく、人として接していることに繋がっていると感じ、感銘を受けました。ありがとうございました。
・週末の麻薬の取り扱い方。体調ばかりに注目するのではなく、生活(人生)に寄り添った関わりの重要性を学びました。(今後の関わりで意識します)ありがとうございました。
・私は地域包括病棟に所属している。受け入れられる病棟として、在宅で行われている看護ケアの実際は本人の希望や家族の思い繋げる必要性を学べた。
・動けるうちに自宅に帰ることができて良かった。ケアマネさんが病気のことにあえて触れないことが良い面も多いと感じました。
・ガン末期の対応でスピード感が大切だと実感した。医療者以外の関わり(CM)が夫の気持ちの支え、気分転換になっていた。
・それぞれの役割、立場からみた患者さんがみえて良かった。サポートの仕方が勉強になった。
・先生がなぜその行動をとったのか聞きながらカンファレンスを実施されており、とても学びになりました。
・それぞれスタッフ、Drの気持ちやどういった関わりをしたのかわかって良かったです。
・CMの関わりも大切。経過を聞くことができて良かったです。川口Drの進行良かったです。
・HP, CM, 訪問診療, 訪看, 多くの職種が関わっていたこと。
・病院, ケアマネ, 訪看, 訪問診療の役割を再確認できた。
・様々な関わりが聞いて学びになった。
・症例, 会場, カメラワークが良かった。
・それぞれの職種の視点での話を聞いて参考になりました。
・関わった方々の意見, 関わり方が聞いてよかった。
・在宅療養の現場の生の声が聞けました。
・色々な職種の視点からのカンファレンスが良かった。
・医療とは関わりのない他愛のない会話の大切さ。
・在宅医療の様子がわかり参考になった。
・大変良かったです。
・状況背景がわかりやすかったです。
○保健師
・在宅での看取り(急な展開での)についてイメージができました。高橋病院さんのすばらしい設備について見学でき嬉しかったです。
・川口先生の柔らかい、プレッシャーのない雰囲気様々職種から見た支援や思いを知ることができてよかった。
・患者、家族の気持ちの変化、その変化に合わせて訪問診療や訪看が対応していることを詳しく知ることができた。
・高橋HPが訪問診療を開始したことがわかったこと。ガン末期のCMの立ち位置の難しさを改めて感じた。
・各職種の意見を聞くことができた。
・配慮(声掛け)のポイントが良かったです。
○薬剤師
・職種間の連携や患者様家族とのやり取りを具体的にお話を聞いてよかったです。薬の在庫がないものは対応が難しいこともあるので日頃の連携が重要だと思いました。
・調剤薬局において、麻薬を調剤するとき、土・日・祝に新規で麻薬の処方を行うのは難しいため、平日のうちから調剤薬局に対して、相談を行うという点に言及していただいたことは非常にうれしいです。
・患者さんの背景や訪看さんやケアマネさんの関わりがよくわかりました。
・多職種の方々のそれぞれの視点、気づきのお話が聞いてとても勉強になりました。
・川口先生が解説してくださりわかり易かった。

○リハスタッフ
<ul style="list-style-type: none"> それぞれのサービス担当者から具体的な話、関わりで大事にしていることを聞いた。 がん終末期の実際がイメージしやすく、勉強になりました。ありがとうございました。
○MSW
<ul style="list-style-type: none"> 本人、家族の思い、葛藤、苦悩の様子、そこを支援する医療・介護スタッフの連携した取り組みが素晴らしいと感じた。 患者や家族の揺れる気持ちにも触れていてとても良かったです。 在宅介護に関わる方達の思いや患者さん家族の思いの移り変わりがよくみえました。
○ケアマネジャー
<ul style="list-style-type: none"> 両Drの説明がわかりやすかったです。薬剤名等も若林先生がわかりやすいように説明してくれて理解できました。スピーディーな対応と薬剤の用意のこと等わかって良かったです。 各々が介入から短期間で終了したケースの中でチームとしての一体感があり、各々の役割を果たしながら利用者と家族を支えられた流れを勉強させていただきました。 CMがどのような対応をしたかの話にも入ってくれたので良かった。(ターミナルケアの時のCMの立ち位置が難しいと感じるときがあるので) ケアマネジャーとしての関わり方、あえて医療的な会話をせず、身近な話をしていくことはとても良いと思いました。本人への選択をせまらず、本人がした選択を見守ることを心掛けていきたいです。 若い、そして時間が少ないことがわかって、受け止めきれないでいる患者さんへの対応が聞けてよかった。 医療従事者の連携について素晴らしかった。短期間の事例での家族への対応について考えることができた。 ガン末期の方に対する在宅での看取りについて、勉強になりました。予防では中々経験することがないので。 とても勉強になりました。すてきなお話で。ありがとうございました。 対応されたスタッフ(スタッフが多く)からの報告で状況の理解ができた。 細かく時系列で説明を聞くことが出来、わかりやすかったです。 会場がきれいでスクリーンも見やすく、とても良かったです。 訪問診療時の医療従事者の思いを知る機会や医師の話を知る機会。 それぞれの役割分担ができていたと思う。(医療、介護、家族) 登壇させていただいてありがとうございました。楽しかったです。 今後対応する中でとても参考になった。 医療職以外の関わり、必要性について考えることができた。 ケアマネの思いが聞けて非常に参考になりました。 自分らしく生きる大切さを学んだ。 川口先生から具体的な医療アドバイスも聞けて良かったです。 後ろにもモニターあるのがとても良かったです。 ケアマネの立ち位置の大切さが感じられた。 実際に関われた方々のリアルな声や話が聞けた点。 コミュニケーションの難しさを学んだ。
○介護職員
<ul style="list-style-type: none"> 病気の進行が早く、時間がない中焦ってしまいそうですが、本人、Famに寄り添いながら対応して関わっている方の配慮、心遣い勉強になりました。病気の話をしがちになりますが、敢えて世間話をする。気が紛れて、リラックスできる大事なことだなと聞いていました。 末期がん発覚後より2カ月以内で永眠となった症例ですが、自宅で最後を迎えたいと希望された本人、支える家族、病状に合わせて対応を行う医療側の大変さや苦労がカンファを通じて想像しながら聞くことができました。 色々な情報、対応方法、進行が早いときの動き等も知ることができ、とても勉強になりました。アプリの話も聞けて良かったです。その人その人の関わり方も学べて良かったです。 在宅で患者様ご本人の希望に沿ったケアができているところ。ケアマネの方のご本人やご家族へのふれ合いの仕方はとても学ぶことが多かったです。 自分がこの立場だったらどうするか…。改めて考えることができた。まだ本人にかかる事業所の職員さんたちの気遣いにも感心した。 それぞれの事業所の連携が詳しく聞くことができた。ご家族の状況や気持ちも伝わってきて分かりやすかったです。 終末期の状態、症状、対応処置の流れ、期間がわかりました。

▪ ご本人の意向に沿った対応ができたのだなあと。
○社会福祉士
▪ それぞれの支援者から支援時のポイントを聞いてよかったです。本人、家族の受容度合いに応じて、本人の意向に応じた支援を行う大切さを改めて感じました。
○鍼灸師
▪ 急激に進行する症例でも、多職種色々な関わりがあることで拾える声があるのだと改めて思いました。

質問3 改善点を教えてください。

○看護師
• 資料は、訪問診療、訪看、ケアマネの枠で時系列での記載にしろらうとっとイメージしやすいのではと考えます。
• 経過が記載されているので、場面の説明はもう少し短くても良いと感じた。
• 時間配分。
• 時間配分が長かった。
○保健師
• 症例に関わったDrの声が聞きづらいときがあった。
○薬剤師
• 今後ももっと開催頻度を可能な限り多くしてほしいです！！そうなれば、もっと他職種の方々と交流ができ、勉強させていただくこともできます。ぜひよろしく願いいたします。
• とても貴重なお話だったため、もう少し時間が長ければと感じた。
○MSW
• ハイブリッドでもよろしいかと思いました。
○ケアマネジャー
• 駐車場が少なく、焦って早目に来ることになった。会場も人数に合わず狭い印象だった。
• マイクの声が聞こえにくい人がいる。
• 音声(なぜか特に男性)とっても聞こえづらくもったいない。
• 勉強になりました。
• 土日に薬局が調整できないと理解したが改善点と思う。
• 事例関係者の想いがもっと知りたかった。
○介護職員
• マイクの音量が小さいため聞き取りにくさがありました。後半はよく聞こえましたので会場の後ろ側でもよく聞こえる設定をお願いします。
• 後ろの方まで声が届きづらかった。
• マイクの音量が低かった。
○社会福祉士
• 先生の声が聞こえづらい時がありました。

質問4 今後に期待すること、その他ご意見等。

○看護師
<ul style="list-style-type: none">呼吸苦の時の処方、緩和について、もっといろいろ聞きたかった。腹水持続の具体的な訪看の訪問タイミングの実例も聞きたかった。地域に暮らす方々が色々な選択をできるよう連携に努めていきたい。介護サービスとの連携も知りたかったです。準備～実施まで企画担当は大変と思いますがとても良い会だと思います。また参加したい。
○保健師
<ul style="list-style-type: none">定期的にこのような機会があると学びや刺激にもなるので継続していただけるとありがたいです。
○薬剤師
<ul style="list-style-type: none">在宅に関する経験がないので、非常に勉強させていただきました。今後も本研修会がありましたら参加させて頂きたいです。今回は進行の肺癌患者様の事例を学ばせていただきました。患者様の心情、各々職種の動向を知ることでもできて、大変勉強になりました。ありがとうございました。また参加したいです。
○ケアマネジャー
<ul style="list-style-type: none">世代が若くなり介護が必要な方が増えている印象です。高齢者と違うことが、多くなっていて今回の事例は良かったので今後お願いいたします。終末期にかけて医療関係者が本当に手厚く対応してくれているので安心していますが、ケアマネとしてご本人やご家族にどのような対応をしていけば良いのか、いつも悩み考えていく課題です。ホワイトボード、見やすかったです。カメラとかすごかった、見やすい。本日は貴重な学びの場をありがとうございました。関係された皆様お疲れ様でした。医療と介護の連携をした事例を色々聞くことが出来たと思う。あまり経験できないケースをしてほしい。
○介護職員
<ul style="list-style-type: none">今回も大変勉強になりました。事例を聞き、Dr、Ns、ケアマネetc関わった方の話を聞くことができ、毎回学ぶことが多いです。このような機会がたくさんあるとありがたいです。今回の事例を踏まえて、色々な方向から物事を考えてより良いサービスができるように自分もしたいと思いました。初めて参加しましたが、また参加したいと感じました。本日はありがとうございました。いかに痛み、苦痛を和らげることを第一に対処できればと私は思います。
○社会福祉士
<ul style="list-style-type: none">急性期患者へのケアマネの関わり方の難しさを感じました。(ケアマネの知らないことが多いなど)
○施設相談員
<ul style="list-style-type: none">初めて参加しましたが、また参加したいと感じました。本日はありがとうございました。
○鍼灸師
<ul style="list-style-type: none">いつもありがとうございます。